



JBCnews

since 1970

【毎月1回1日発行・1部20円】

JBCニュース
第525号 平成27年8月1日
昭和50年5月19日第三種郵便物認可

発行所
公益財団法人 全日本ボウリング協会
東京都港区芝4-4-10
サンライズ長井ビル8F 03(3452)4501
<http://www.jbc-bowling.or.jp/>

World Bowling Tour **MAJOR**
Bowling World Open

男子優勝 Osku Palermaa
オスク・パレルマ
Finland

女子優勝 Joey Yeo
ジョーイ・イエオ
Singapore

世界最強、ここに決定

56もの国と地域からボウラーが参戦したBowling World Open。その勝者を決める舞台には、ヨーロッパ、北米、南米、アジアの様々な国の代表が顔をそろえました。頂点に立ったのは、両手投げのオスク・パレルマと、17歳のホープ、ジョーイ・イエオ。個性を極めた者や、これからキャリアを重ねようという若者にも、ボウリングなら金メダルのチャンスが平等にある。そのことが今大会を通じて証明されました。

Photo by HERO NODA

U22

1st Fukuoka Summer Cup 2015

SPONSORED BY **STORM**

日本オーストラリア中国グアム香港韓国
マカオマレーシアバキスタンフィリピンシンガポール中華台北ベトナム

期日 **2015/ 8/ 21・22・23**
(FRI) (SAT) (SUN)

会場 **博多スターレーン** 福岡市博多区博多駅東 1-18-33
TEL 092-451-4321

副賞

《優勝者》アメリカでの大会サポート
『Visit US TAT』を受けられる
1年間ストーム社の用品サポート
『Jr.Staff』を受けられる

《準優勝者》フィリピンでの大会サポート
『Visit Euro Mad』を受けられる

《第3位》ストームローカルスタッフ
(日本: ハイ・スポーツ社がサポート)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会 U22

特別協賛 ストーム社
株式会社 ハイ・スポーツ社

後援 公益財団法人 日本体育協会 (予定)
公益財団法人 福岡県体育協会
福岡県教育委員会

協力 全国ボウリング公認競技場協議会 (予定)
公益財団法人 日本ボウリング場協会 (予定)
日本ボウリング商工会 (予定)
株式会社 イースタンスポーツ
九州ボウリング場連合協議会
九州ボウリング連合会
福岡県公認ボウリング場協会

公認 アジアボウリング連盟
公益財団法人 全日本ボウリング協会

主管運営 福岡サマーカップ大会実行委員会
福岡県ボウリング連盟

大会詳細は福岡県ボウリング連盟ホームページをご覧ください。 <http://kyushu-fbf.jp/>

▽8月1日(出)2日(日) 小学
生特別指導会兼第6回全日本
小学生競技大会 愛知・稲沢
グラウンドボウル
▽8月3日(月) 日本スポーツ
マスターズ2015組合せ抽
選会 東京・JBC事務局
▽8月3日(月)4日(火) ジュ
ニアジャパン強化選手認定会
(北地区) 福島ボウルア
ピ
▽8月5日(水)6日(木) ジュ



8月&9月

▽8月8日(出)9日(日) JB
C公認第3種審判員認定会
(西日本地区) 大阪・イー
グルボウル
▽8月9日(日)10日(月) ジュ
ニアジャパン強化選手認定会
(西地区) 福岡・博多ス
タ
▽8月21日(金)23日(土) U22
1st Fukuoka S
ummer Cup 2015
ジャパンボウル

▽8月7日(金)8日(土) ジュ
ニアジャパン強化選手認定会
(東地区) 東京・東和グ
ランドボウル
▽8月23日(日)30日(日) 第2
回世界シニア選手権大会 ア
メリカ・ラスベガス
▽8月25日(火) 第70回国民
体育大会(紀の国わかやま国
体)組合せ抽選会 東京・岸
記念体育会館
▽9月4日(金)6日(日) 日
体協公認コーチ養成事業専門
目(前期) 東京・東京ボ
トボウル
▽9月18日(金)21日(月・
祝) 日本スポーツマスタ
ズ2015石川大会 石川・
ジャパンボウル

toto助成金交付式 が開催されました



スポーツ振興くじ(toto
o)は、スポーツ環境の整備
や国際競技力向上など、日本
のスポーツ振興のために役立
てられています。平成27年度
の助成対象事業が決定し、助
成金交付式が7月13日(月)に東
京・東京プリンスホテルで開
催され、助成を受ける団体や
トップアスリートに交付認定
証が授与されました。
JBCでは今年度、9つの
事業がtotoの助成を受け
て実施されます。
▽地域における有望選手発掘
のためのジュニア合宿(ジュ
ニアジャパン強化選手認定
会)
▽第28回オ
ルジャパンレ
ディストナ
メント
▽JBC(会長
杯争奪第31回
全日本年齢別
選手権大会
▽ボウリング
教室(キャラ
バン隊)
▽全日本ジュニア強化コー
チ研修会
▽コーチングマニュアル制作
▽JBC(ニュース発行
▽ドレーン検査事業
▽ボウリングワールドオーブ
ン



紀の国わかやま国体
マスコット きいちゃん

出場チームが決定

第70回国民体育大会(紀の
国わかやま国体)ボウリン
競技が9月26日(出)から10月2
日(金)にかけて、和歌山県岩出
市の紀の川ボウル(公認No.1
3014)で開催されます。
全国9地区のブロック大会が
7月中旬に順次開催され、本大

会出場チームが全て出そろ
いました。

開催地シードの和歌山県を
含む11都道府県が、出場チ
ームの最大の目標である男女総
合優勝(天皇杯得点)達成に
有利な全種別出場を決めてい
ます。

8月25日(火)には組合せ抽選
会が開かれ、全10種目のレ
ィン配当が厳正に抽選されま
す。本大会開幕まで残り2カ
月半、出場チームは調整の
和歌山県では開催準備のラス
トスパートに入ります。

紀の国わかやま国体

平成27年度 各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	平成27年7月31日現在	
		登録数	公認件数
北海道地区	北海道	27	37
	青森	24	34
	岩手	29	42
	宮城	19	18
東北地区	山形	14	31
	福島	20	18
	茨城	18	15
	栃木	9	15
関東地区	群馬	13	27
	埼玉	39	28
	千葉	21	8
	東京	11	17
北信越地区	新潟	25	18
	山梨	15	15
	長野	13	11
	富山	16	19
東海地区	石川	24	31
	福井	17	12
	岐阜	1	1
	愛知	21	43
関西地区	三重	49	85
	滋賀	39	27
	京都	9	17
	大阪	37	37
中国地区	奈良	54	9
	和歌山	49	15
	鳥取	25	14
	徳島	7	1
四国地区	高松	5	1
	香川	10	12
	愛媛	3	1
	高知	52	31
九州・沖縄地区	福岡	14	8
	佐賀	14	12
	大分	13	11
	熊本	8	12
全日本学生連合	徳島	12	15
	高知	10	6
	福岡	29	71
	佐賀	4	2
総計	宮崎	2	13
	鹿児島	2	27
	沖縄	16	8
	那覇	18	36
総計	鹿児島	22	6
	沖縄	15	16
	那覇	8	5
	総計	935	822

▽9月26日(出)10月2日(金)
第70回国民体育大会(紀の国
わかやま国体) 和歌山・紀
の川ボウル



理事会報告

6月20日付で開催された平成27年度第3回理事
会(文書理事会)において、相澤隆也氏の逝去に
よる空席となっていた協会専務理事の選任が行わ
れ、齋藤良太郎氏が7月1日付で専務理事に就
任しました。協会事務局長を兼任します。

新専務理事に齋藤良太郎氏

賛助会員・特別法人・個人会員紹介

〈平成27年7月1日以降登録者〉

【特別法人会員】
▽広島県 株式会社徳川
(代表取締役今井誠則)、
キャスルボウル福山(支
配人岩川敬史)、JFEス
チール(西日本製鉄所福山
地区(東孝行)、清水開発
株式会社(代表取締役清水利憲)、
宝和株式会社(代表取締役
平野辰幸)
【特別個人会員】
▽北海道 金谷志信(JB
長)、竹田達治(JBC評
議員、連盟副会長)、岡
村順一(JBC評議員、連
盟理事長、笹森武雄、仙
庭雅嗣、谷本則子
▽茨城県 久保正幸(連盟
理事長)、横山信一(同副
理事長)、永島守、友部広
隆、椎名豊史
▽栃木県 田口剛男(連盟
副会長)
▽群馬県 清水真人(連盟
会長)、小瀬雄次(同副会
長)、竹田達治(JBC評
議員、連盟理事長)、上野
号史
▽福井県 橋本嘉之(連盟
副理事長、中田洋和、村松一弘
▽岡山県 池田實、大崎智
浩、伊原絵美、水谷純
長、片岡慶行
▽広島県 寺田稔(連盟会
長)、松尾美代子、今坂順子、永
野臣俊、峰允男
〈順不同・敬称略〉

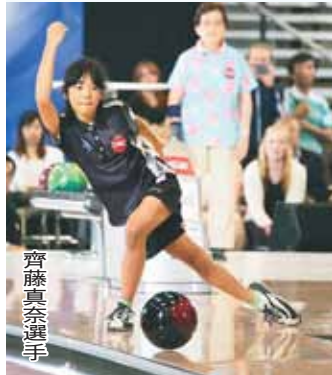
暑中お見舞い申し上げます

平成27年 盛夏

公益社団法人 日本プロボウリング協会 会長 松田 秀樹 〒105- 東京都港区芝浦 1-13-10 0023 第3東運ビル 2F ☎ 03-6436-0310 FAX 03-3454-6140 http://www.jpba.or.jp/	公益社団法人 日本ボウリング場協会 会長 中里 則彦 〒140- 東京都品川区南品川 2-2-10 0004 南品川Nビル 3F ☎ 03-6433-0450 FAX 03-6433-0451 http://www.bowling.or.jp/				
サンブリッジグループ 株式会社サンブリッジ 株式会社サンリッチインターナショナル 代表取締役 橋本 政明 〒654- 神戸市須磨区弥栄台1丁目10-3 0161 ☎ 078-797-6230 FAX 078-797-6231 http://www.sunbridge-group.com/	株式会社 アメリカンボウリングサービス 代表取締役会長 渡邊 保 代表取締役社長 伊東 正美 〒143- 東京都大田区北馬込1-1-1 0021 ☎ 03-5718-7111 FAX 03-5718-7112	オーディン協議会 会長 熊 和敏 〒701- 岡山県瀬戸内市長船町長船 1245-1 4271 ☎ 0869-26-8870 FAX 0869-26-8871	日本ボウリング商工会 理事長 川島 幸一郎 〒222- 神奈川県横浜市港北区鳥山町 1259 0035 株/イ・スポーツ社内 ☎ 03-3371-2735 FAX 03-3371-2735	全国ボウリング公認 競技場協議会 会長 伊藤 博元 〒108- 東京都港区芝浦3-6-10-902 0023 ☎ 03-3453-2725 FAX 03-3798-7375	
関東ボウリング場協会 会長 水上 源太郎 〒140- 東京都品川区南品川 2-2-10 0004 南品川Nビル 3F ☎ 03-6433-3357 FAX 03-6433-3257	ミーフコーポレーション 寺村 眞代 〒533- 大阪市東淀川区東淡路2丁目3-28 0023 ☎ 06-6325-1171 FAX 06-6325-1170 teramura@iris.ocn.ne.jp	株式会社 アサヒボウリングサービス 代表取締役 福森 建司 〒350- 埼玉県川越市南田島 843-1 0027 ☎ 049-226-4050 FAX 049-226-4061	日本エボナイト株式会社 代表取締役社長 井上 昭良 〒144- 東京都大田区西六郷4-36-5 0056 ☎ 03-3731-2271 FAX 03-3731-2274 http://www.nichi-ebo.co.jp/	株式会社ハイ・スポーツ社 代表取締役社長 川島 幸一郎 〒222- 神奈川県横浜市港北区鳥山町 1259 0035 株/イ・スポーツ社内 ☎ 045-471-9445 FAX 045-471-9447 http://www.hi-sp.co.jp	
徳島県ボウリング場協会 会長 森 博史 〒770- 徳島市南末広町4-9-5 0865 スエヒロボウル内 ☎ 088-625-2256 FAX 088-652-3052	広島県ボウリング場協会 会長 古本 和久 〒731- 広島市佐伯区皆賀4-19-6 5124 ミスズガーデン隣ミスズボウル内 ☎ 082-922-5161 FAX 082-922-5132 http://www.bpah.or.jp/	神奈川県ボウリング場協会 会長 瀧田 久徳 〒231- 横浜市中区吉田町 72 0041 サリュートビル 8F ☎ 045-308-6633 FAX 045-251-7905 http://www.bpak.jp/	東京ボウリング場協会 会長 財津 澄子 〒140- 東京都品川区南品川 2-2-10 0004 南品川Nビル 3F ☎ 03-6433-3357 FAX 03-6433-3257	関西ボウリング場協会 会長 大薮 芳崇 〒532- 大阪市淀川区西宮原1-7-39 0004 第2メゾン新大阪301 ☎ 06-6392-4890 FAX 06-6397-2976	



牧野恵美子選手



齊藤真奈選手



誰でも楽しめるボウリングは

No Border Sport



森寛樹選手



中込信選手

ボウリングワールドオープン決勝の舞台となった幕張メッセの特設レーンで、ボウリングの懐の深さを示すエキシビションイベントが行われました。

その名も「No Border Sport」ボウリングは年齢や障がいの有無といったものに左右されず、誰でも楽しむことができるということを証明するため、キッズボウラー、シニアボウラーと障がい者スポーツとしてのボウリングに情熱を燃やす選手が、思いを込めた投球を披露しました。

視覚障がい者ボウラーの森寛樹選手は、今年5月にIBSAワールドゲームズ・ソウル大会で金メダルを獲得。全日本視覚障害者ボウリング協会の青木利明会長が、ガイドレールを使用する以外のほとんどが健常者と同じルールであることを説明しました。試合と同様、アイマスクを着けて投球する森選手は、本番の一球で見事にストライクを決めて拍手喝さいを浴びると、「多くの視覚障がい者が（ボウリングを通じて）自力で成し遂げる実感を味わって、前向きに楽しい人生を送る手助けになってほしい」と語りました。

車いすボウラーの中込信選手は高いスポーツ意欲を持ち、かつては車いすマラソンで活躍。現在はボウリングに励みながら、その魅力を伝えたいと意欲的に活動しています。最高スコア279を誇る腕前で、右手で車いすを巧みに操作しながら左手でボールをスイングさせて生み出す力強いボールに観客の注目が集まりました。中込選手は、「一人でも多くの障がい者がボウリングを楽しむ環境を作って、オリンピック・パラリンピックにボウリング競技を加えてほしい」と願いを訴えました。

シニアボウラーの代表として登場したのは、83歳の牧野恵美子さんと、娘の津澤優美さん、孫の久美さんと一緒に全国大会にも出場するボウラー一家です。3人おそろいのボウリングウェアで登場すると、終始にこやかにプレーを披露。「家族が同じ土俵で競い合えるボウリングは、明らかに他の競技とは異なると思う。無理せず自分のできるハイスコアを目指しながら、少しでも長く投げ続けたい」と抱負を語りました。

最後に登場したのは、将来あるキッズボウラーの代表、齊藤真奈選手。お父さんがきっかけでボウリングに興味を持つようになり、上達真っ最中の今は試合で優勝したり、お父さんに勝つことがうれしいと言います。「ボウリングがオリンピック種目になったら、ものすごく目標になる。大好きなボウリングでオリンピック選手を目指します」と力強く宣言しました。

お詫 このたびは、グランドオープン大会最終日（7月12日）競技開始前にアクシデントが発生し、観客のお二人の方けがを負わせることとなりました。お二人をはじめご支援賜りました皆様、関係者の皆様には大変なご迷惑・ご心配をおかけしましたことと、深くお詫び申し上げます。

弊社では大会主催者として、今後一度とこのような事故が発生させないよう安全管理に努めてまいります。また、このアクシデントの発生によりプログラムの一部（ミックスダブルス戦）が実施できないこととなりました。重ねてお詫び申し上げます。

会場に戻られて、最後まで観戦していただくことができました。



署名100万人突破をアピール

記者会見で署名100万人突破を発表

特設レーンでの決勝戦終了後、大会主催者と選手による記者会見が行われました。はじめて、特設会場内で発生した事故に関してJBC武部動会長がお詫びし状況を報告の上、大会について改めて説明しました。またボウリングが東京オリンピックの追加種目候補8競技に挙げられたこと、約半年かけて活動してきた署名活動において、100万人を超える署名が集まったことを発表しました。

世界ボウリング連盟のケビン・ドーンバーガー会長からは、ワールドオープンが参加国数・賞金額ともに世界最大の規模で実現したことが紹介され、これを機にボウリングがよりメジャーなスポーツとして認識されることを願うと述べました。

女子優勝のジョーイ・イエオ選手は、「ボウリングは老若男女問わずプレーできる、懐の深いスポーツ。ますます盛んになり、オリンピックの種目に選ばれることを願っています」とコメント。男子優勝のオスカー・パレルマ選手も「もうボウリングはオリンピックの種目になれるのではないかと期待しています」と希望を語りました。

今大会、日本選手として最高位の2位に入った山本勲選手も、「プロアマ関係なく力を合わせてボウリングのオリンピック種目化を目指し、実現の際には日本代表選手を目指したい」と語りました。

報道記者からは、オリンピック種目化や、山本選手へ今大会の活躍に関する質問が寄せられました。

最後に行われたフォトセッションでは、署名100万人とオリンピック日本代表予選会20万人構想を強くアピールしました。



河村衆議院議員が乾杯発声

記者会見に引き続き、大会関係者と選手による開催記念パーティーが開かれました。武部会長が改めて大会開催に尽力いただいた関係各位と選手に向けて御礼の言葉を述べ、ボウリング振興議員連盟会長を務める河村建夫衆議院議員の乾杯発声により、世界から集まった選手と関係者の交流の場となりました。



武部会長が大会を解説



神奈川県ボウリング公認競技場協議会 会長 前田 豊明 〒231- 横浜市中区吉田町72 0041 サリュートビル8F ☎ 045-308-6633 FAX 045-251-7905	東京ボウリング公認競技場協議会 会長 伊藤 博元 〒108- 東京都港区芝浦3-6-10-902 0023 ☎ 03-3453-2725 FAX 03-3798-7375	山形県ボウリング公認競技場協議会 会長 薄衣 幸助 〒999- 東根市神町西4-6-60 3766 空港ターミナルボウル内 ☎ 0237-47-1611 FAX 0237-47-1610	北海道ボウリング公認競技場協議会 会長 矢嶋 弘三 〒085- 釧路市幸町10丁目1 0017 釧路パレスボウル内 ☎ 0154-24-0311 FAX 0154-24-0314 ✉ k-p-bowl@khaki.plala.or.jp	福岡県公認ボウリング場協会 会長 秀嶋 康成 〒811- 福岡県糟屋郡篠栗町尾仲1187-1 2413 ☎ 092-410-6911 FAX 092-410-6912
株式会社グランドボウル 代表取締役社長 青山 浩章 〒459- 愛知県名古屋市中区大高町志山12-1 8001 名古屋グランドボウル3F ☎ 052-623-7535 FAX 052-623-2548 http://www.grandbowl.jp/	長崎県ボウリング公認競技場協議会 会長 川添 徳也 〒850- 長崎市愛宕2-7-4 0822 ☎ 095-825-0763 FAX 095-825-0763	岡山県ボウリング公認競技場協議会 会長 熊 和敏 〒701- 岡山県瀬戸内市長船町長船1245-1 4271 ☎ 0869-26-8870 FAX 0869-26-8871	大阪府ボウリング公認競技場協議会 会長 大薮 芳崇 〒532- 大阪市淀川区西宮原1-7-39 0004 第2メゾン新大阪301 ☎ 06-6392-4890 FAX 06-6397-2976	京都府ボウリング公認競技場協議会 会長 松山 靖史 〒603- 京都市北区衣笠鏡石町47 8451 しょうざんボウル内 ☎ 075-491-5101 FAX 075-495-2089 ✉ bowling-manager@shozan.co.jp
伊八産業株式会社 西東京レーン 代表取締役 伊藤 博元 常務取締役支配人 伊藤 武春 〒198- 東京都青梅市新町9-1-1 0024 ☎ 0428-31-2400 FAX 0428-32-2123	JFE東日本ジーエス(株) JFE千葉リバーレーン 代表取締役社長 弓削 和弘 〒260- 千葉市中央区南町2-5-15 0842 ☎ 043-264-5656 FAX 043-264-4362 http://www.riverlane.jp/	株式会社 マル 山形ファミリーボウル 代表取締役 井上 静夫 〒990- 山形市北町2-2-45 0821 ☎ 023-684-1601 FAX 023-684-5055 http://www.maruwi.co.jp/YFB/	みゆき観光開発株式会社 ローヤルボウル 代表取締役 畑 中正義 〒094- 北海道紋別市幸町5丁目20-1 8551 ☎ 0158-24-2472 FAX 0158-23-5649 ✉ monbetsu-royal@muse.ocn.ne.jp	株式会社 イースタンスポーツ 代表取締役会長 中野 啓二郎 代表取締役社長 中野 明 〒151- 東京都渋谷区代々木2-11-15 0053 新宿東京海上日動ビル9F ☎ 03-3379-7333代 FAX 03-3320-4126 http://www.starlanes.co.jp/
ボウリングジャーナル社 代表 津田 浩 〒532- 大阪市淀川区宮原1-19-23 0003 ス튜디오新御堂702 ☎ 06-6393-0255 FAX 06-6393-0257	エースランド株式会社 宮崎エースレーン 代表取締役社長 藤元 良一 〒880- 宮崎市高千穂通1-3-22 0812 エースランド内 ☎ 0985-25-6262 FAX 0985-25-5305 http://www.aceland.jp/	株式会社 フォー ジー イー グル ボウル 代表取締役 大薮 芳崇 〒532- 大阪市淀川区宮原4-3-9 0003 ☎ 06-6394-3232 FAX 06-6397-0573	株式会社 幸田セントラルボウル 代表取締役 鈴木 美郎 〒444- 愛知県額田郡幸町大字菱池字前田138-3 0113 ☎ 0564-62-1711 FAX 0564-62-5509 http://www.koda-cb.jp	株式会社 星ヶ丘ボウル 代表取締役社長 水野 茂生 〒464- 名古屋市千種区星が丘元町16-45 0802 ☎ 052-781-5656 FAX 052-781-5663 http://www.hoshigaoka.co.jp/
株式会社 アイワ徽章 代表取締役 村松 寛治 〒105- 東京都港区新橋1-18-12 0004 ☎ 03-3503-0031 FAX 03-3503-0034 http://www.aiwakisho.co.jp/	株式会社 イマジンクリエイション 代表取締役 柴山 均 〒108- 東京都港区三田5-5-11 0073 イマジンビル ☎ 03-3451-5459 FAX 03-5442-3866	東洋ネーム工業 社長 島 隆三 〒615- 京都市右京区西京極大門町12 0812 ☎ 075-313-0115 FAX 075-311-6271 http://www.toyoname.jp/	株式会社 サンシステムサービス 代表取締役 石川 年子 〒230- 横浜市鶴見区鶴見中央4-11-11 0051 鶴見クリーンハイツ303号 ☎ 045-521-8156 FAX 045-506-4200 ✉ sun.s.s@nifty.com	(株) ベースボール・マガジン社 ボウリング・マガジン 代表取締役社長 池田 哲雄 〒101- 東京都千代田区三崎町3-10-10 8381 ☎ 03-3238-0081 FAX 03-3238-0106 http://www.sportsclick.jp/



決勝はオスクVS山本 好カードに場内熱狂

予選は5ゲーム、準決勝を合わせてもたった8ゲームという短期決戦だけに、1ゲームたりともおろそかにはできない気迫のプレーが随所に見られた。

1ゲーム目、ドム・バレット（イングランド）がいきなりパーフェクトゲームで会場を沸かせた。川添斐太（JPBA）も279をマークしてバレットに次ぐ2位発進するなど日本勢も好調で、3ゲーム終了時点で山本勲（JPBA）が757までスコアを伸ばして首位を奪った。

4ゲーム目で再びトップに立ったバレットがそのまま1位で予選を通過し、PBAのトッププロでありながら選抜大会を勝ち抜いての出場となったビル・オニール（アメリカ）が5ゲーム目にパーフェクトを達成して2位に。過去2回、日本でのワールドボウリングツアー戦を制しているトミー・ジョーンズ（アメリカ）も3位に浮上し、山本も決勝進出圏内の4位で準決勝を争った。

バレットは準決勝も1ゲーム目に256をマーク。これで2位のオニールに100ピンの差をつけた。山本はオニールと11ピン差で、ボーダーラインの4位近辺は大接戦に。オニールがまさかのマイナスゲーム2連続で後退し、山本が2位、オスク・パレルマ（フィンランド）も3位に順位を上げた。

独走態勢のバレットはそのまま1位で決勝進出を決めた。準決勝で724と打ち上げたパレルマが2位に入り、オニールも最後は237とし3位に。山本は最終ゲームでスコアを伸ばせず追い上げられなかったが、5位と3ピン差で何とか決勝の舞台へ駒を進めた。

ベスト4による決勝戦は1ゲームマッ

チのトーナメント戦。第1ラウンドはバレットVS山本、パレルマVSオニールの組合せとなった。

予選のスタートから常にトップを走り続けたバレットに挑むかたちとなった山本。ダブルで先行したバレットに対し、山本は2フレーム目でスプリットオープンを見て、いきなり2マークの差をつけられてしまうが、4フレーム目からの連続ストライクで逆転に成功。最後までストライクは止まらず、256対224で山本の快勝となった。

一方、パレルマとオニールは2人そろってストライクラッシュ。7フレーム目まで続けたパレルマに対して、オニールは6連続でストップ。この一つの差が最後まで響き266対255でパレルマに軍配が上がった。

両手投げから繰り出す強烈なボールが魅力のパレルマと、日本のギャラリイから声援を一身に受ける山本の頂上決戦に、会場の熱気もピークを迎えた。1フレーム目は両者豪快にストライク。2フレーム目のスペアを挟んでダブルをマークし、完全に互角でゲームを進める2人だったが、快調にストライクを続けたパレルマに対し、山本は6フレーム目に3・7・9ピンを残す痛恨のスプリット。この時点でパレルマのリードは4マークまで広がってしまった。

山本は逆転を信じて8フレーム目から再びストライクをつなげていった。ストライクが6連続で止まったパレルマは、残したピンを片手投げでスペアをとる器用さも披露して、このゲーム248。224までスコアを伸ばした山本を振り切って優勝を決めた。



選抜大会

「誰でも参加できる世界一決定戦」の所以でもある選抜大会。国内選抜大会には、本大会進出を目指す日本のプロ・アマチュアボウラー、男子239名、女子84名がエントリーした。全10シフトが用意され、一人何シフトでもチャレンジが可能。ベストスコアが適用され、男子は上位20名、女子は上位21名が本大会への切符を手にした。トップ通過者のスコアは男子が767、女子は793という高さで、続く本大会での激戦を予想させた。

海外選手は海外選抜大会にエントリー。日本選手とは別に男女各20名の本大会進出枠が用意された。男子62名、女子42名の中には、世界選手権などの公式国際大会でメダルを獲得するようなトップ選手や、PBAの人気プロボウラーも名を連ね、最終的にはここから決勝戦に進出する選手も出るという結果に。「誰でも参加できる」のはもちろんのこと、「誰でもチャンス」があることも証明されたかたちとなった。



大会概要

ボウリングワールドオープンとは、国際大会の中でも「オープン大会」という位置付けで、世界ボウリング連盟（World Bowling）が主催する「ワールドボウリングツアー」にメジャー大会として参入。賞金総額は同ツアー中最高額の4840万円で、男女それぞれの優勝賞金は1000万円が用意された。

大会は7月9日から12日までの4日間。前半2日は本大会進出を目指す一般選手のための「選抜大会」が実施された。日本選手のための「国内選抜大会」はラウンドワン南砂店で、海外選手のための「海外選抜大会」は品川プリンスホテルボウリングセンターで、総勢427名のボウラーが熾烈な出場権争いを展開した。

3日目の本大会予選・準決勝には選抜大会突破者とシード選手、男女各110名がラウンドワン南砂店に集まった。予選は5ゲームを投球して上位33名が準決勝へ。準決勝はさらに3ゲームを投球し、予選との合計8ゲームで決勝進出者を決定した。

決勝戦の舞台は幕張メッセの特設レーン。男女のトップ4が1ゲームマッチのトーナメント戦でメダルの色を争った。



17歳のイエオが 世界の強敵を撃破

元日本代表の実力者、木村真理がパーフェクトまであと1本の好ゲーム。女子も男子にひけをとらないレベルの高さで観客を驚かせた。2ゲーム目終了時点で木村のスコアは男子のトップを上回る526。2位につけたバーニス・リム（シンガポール）もその2ピン差で続いた。

ビルギット・ペブラー（ドイツ）は3ゲーム目に278をマーク、11位から一気にトップまで浮上した。8位までが700UPで、1位とはわずか4マークという接戦模様。ペブラーは残る2ゲームを無難にまとめて1位通過を決めた。2位のシャイダテュル・アフィファ（マレーシア）、3位のビョル・ハン（韓国）と選抜大会突破者が上位に名を連ね、4位にはダニ・ホブクロフト（イングランド）が続いた。

準決勝に入って、決勝進出権争いは一層激化した。1ゲーム目にペブラーとアフィファの差は6ピンまで縮まり、10位通過のジョーイ・イエオ（シンガポール）が3位まで急浮上した。4位のケリー・キュリック（アメリカ）はトップとわずか23ピン差。続く2ゲーム目ではイエオがペブラーに1ピン差と迫り、キュリックもさらに16ピン差で3位に。ペブラーは最終ゲームも221にまとめて1位通過を果たした。イエオも2位をキープし、最後に256をマークしたカレン・マルカーノ（ベネズエラ）が6位から3位に順位を上げ、最後の1枠はキュリックが手にした。

1位通過のペブラーは4位のキュリックと対戦。キュリックがターキーで先行したが、ペブラーも3フレーム目からストライクをつなげて逆転、2マーク

のリードを作った。逆転したいキュリックは終盤またストライクをつなげたが、ペブラーもターキーで突き放して258の好ゲームで勝利をおさめた。

イエオとマルカーノの対決では、イエオが1フレーム目にオープンフレームも、すぐに立て直して5連続ストライクを決めた。マルカーノはストライクをつなげることができずに差は広がるばかり。9フレーム目から再び4連発を決めたイエオの勝利となった。

世界選手権でのメダル獲得も経験しているペブラーはドイツからのシード選手。一方のイエオは、シンガポールのナショナルメンバーではあるが選抜大会からの出場。対照的な2人のファイナルマッチは静かな立ち上がりとなった。ペブラーは3フレーム目までストライクが出せず、イエオも3フレーム目にビッグ4を残してオープンを喫してしまう。しかし第1ラウンド同様、イエオはミスの後素早く切り替え、4フレーム目から一気に5連続ストライクで逆転した。ペブラーもダブルをマークして何とか1マーク差で追いつける展開に。するとイエオは肝心の9フレーム目に2・4・10ピンを残すスプリットでピンチに。スペアを狙いにいった2投目は2番ピンをヒットできなかった。9フレーム目でスペアのペブラーが逆転するには、最終フレームでダブルが必要。その1投目でしっかりストライクを決めて、いよいよわからなくなった優勝の行方に観客も沸いた。そして運命の2投目は、10ピンが残って勝負あり。最後をストライクとスペアで締めくくったイエオが3ピン差で勝利し、17歳のチャンピオンが誕生した。



Singles - Men -

Dom Barrett (ENG) ドム・バレット	224
Isao Yamamoto (JPN) 山本 勲	256
Osku Palermaa (FIN) オスク・パレルマ	266
Bill O'Neill (USA) ビル・オニール	255

1st Round

Dom Barrett (ENG)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	29	49	68	87	107	136	155	164	194	224
Isao Yamamoto (JPN)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	18	26	46	76	106	136	166	196	226	256

Final Round

Isao Yamamoto (JPN)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	20	40	68	88	105	114	134	164	194	224
Osku Palermaa (FIN)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	20	40	70	100	130	160	189	209	228	248

Osku Palermaa (FIN)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	30	60	90	120	150	178	197	206	236	266
Bill O'Neill (USA)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	30	60	90	120	147	166	175	195	225	255

Singles - Women -

Birgit Pöppler (GER)	258
Birgit Pöppler (GER)	204
Kelly Kulick (USA)	227
Kelly Kulick (USA)	207
Joie Yeo (SIN)	234
Joie Yeo (SIN)	181
Karen Marciano (VEN)	181

1st Round

Birgit Pöppler (GER)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	20	40	70	100	130	159	179	199	229	258
Kelly Kulick (USA)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	9	20	50	79	99	119	139	159	187	207

Final Round

Joie Yeo (SIN)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	6	2	36	44	74	104	134	161	179	187
Birgit Pöppler (GER)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	9	7	36	56	76	96	125	145	164	184

Joie Yeo (SIN)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	6	2	38	68	98	127	147	165	174	204
Karen Marciano (VEN)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	20	40	60	76	96	115	124	143	161	181



男子シニア 選手権者決定戦入賞者



女子シニア 選手権者決定戦入賞者



男子ハイシニア 選手権者決定戦入賞者



女子ハイシニア 選手権者決定戦入賞者

第48回 全日本シニア選手権大会

3種目で記録超え!

第48回全日本シニア選手権大会が6月26日(金)から28日(日)にかけて、愛知・稲沢グランドボウル(公競No.122・64)で開催されました。今年も671名にも上るシニアボウラーが一挙集結し、6部門14種目で熱戦を展開しました。



男子シニア

2人チーム戦で東京D(森野・田倉)が2708をマーク。昨年改められた大会記録を上回って優勝を決めました。個人戦では佐賀代表の辻田良二と久保信行がともに1400超の好スコアで1・2フィニッシュとなりました。3位に入賞の藤田忠志(滋賀)は選手権者決定戦にトップ通過すると、リードを広げて優勝を果たしました。

女子シニア

2人チーム戦 福井A(高木・辻)は唯一2400台に乗せて大差で優勝。個人戦で優勝の馬場初美(大分)も1360という好スコアをマーク

男子ハイシニア

優勝から4位までわずか14ピン差という接戦を制して、千葉A(山口・浅田)が2人チーム戦を制覇。続く個人戦でも浅田俊夫(千葉)が2ピン差での優勝を決めました。浅田はトップで決勝へ。とはいえ4位まで2マーク差という混戦で迎えた最終3ゲームは大混戦となり、3位で通過した野口明廣(長崎)が逆転で頂点に立ちました。

女子ハイシニア

石川A(大丸谷・中村)の常連コンビが2人チーム戦で

最高年齢者&出場回数達成者を表彰

今大会参加者中の最高年齢者は、高関郁哉選手(北海道)と中川キミエ選手(広島)。ともに大正15年生まれの満89歳で、マスターズシニアの部に元気に出場されました。



最高年齢者、89歳の中川選手(左)と高関選手

また、前回大会までに10回以上出場を達成した選手を、5回の節目ごとに表彰しました。

【出場回数達成者】
▽10回 熊谷芳行(宮城)、郡司加代子(神奈川)、有田登美子(石川)、岩月文彦(愛知)、栗林隆行(三重)、藤田忠志(滋賀)、田中市子(京都)、有福和義(広島)、高木和夫(愛媛)、橋本千秋(愛媛)、佐竹理江(高知)、中園憲三(福岡)、馬場豊(福岡)、大橋幸子(福岡)、喜多喜代子(福岡) 麻田信男(奈良)
▽30回
▽15回 岡、松尾美代子(福岡)、吉田聖(長崎)
▽10回 佐々木誠二(青森)、澤田順子(宮城)、浅田俊夫(千葉)、倉橋敏夫(千葉)、高橋賢二(神奈川)、高本正子(愛知)、橋本康(滋賀)、福原秀子(京都)、川崎晃(兵庫)、中司岡子(山口)、大貫瑛泰(大分)
▽20回 谷津全(埼玉)、板垣愛子(静岡)、小池和美(京都)
▽25回 松原宏仁(兵庫)、原章代(兵庫)、玉岡武雄(愛媛)
▽30回

第48回 全日本シニアボウリング選手権大会 成績表

参加：男子シニア部門 292名、ハイシニア部門 132名、女子シニア部門 117名、ハイシニア部門 59名
マスターズシニア部門 男子48名、女子23名 合計 671名

平成27年6月26日(金)～28日(日)
愛知・稲沢グランドボウル

《男子シニア》(50歳～64歳)		《男子ハイシニア》(65歳～74歳)		《女子シニア》(50歳～64歳)		《女子ハイシニア》(65歳～74歳)	
* 2人チーム戦 (2×6G)		* 2人チーム戦 (2×6G)		* 2人チーム戦 (2×6G)		* 2人チーム戦 (2×6G)	
優勝	東京D(森野清一・田倉稔)*2,708	優勝	千葉A(山口五郎・浅田俊夫)2,556	優勝	福井A(高木則子・辻容子)2,452	優勝	石川A(大丸谷智子・中村邦子)2,345
準優勝	神奈川E(蒲ヶ原学・村上悦男)2,640	準優勝	富山A(大角広司・岩井親孝)2,548	準優勝	高知A(山中貴美・井本美貴子)2,385	準優勝	愛知A(高本正子・大橋信子)2,293
第3位	三重B(堀田賢司・南出幹生)2,635	第3位	三重C(栗林隆行・鈴木隆博)2,544	第3位	富山A(山本直美・古岡美保子)2,375	第3位	三重A(松田八重子・澤田英子)2,254
第4位	広島C(鈴崎浩二・野田学)2,631	第4位	愛知A(則武皓爾・松井卓治)2,542	第4位	新潟B(斉藤京子・和久井春子)2,369	第4位	北海道A(井川静江・寺口エミ子)2,231
第5位	京都B(小堀康司・森下潤)2,622	第5位	東京B(畑中勝美・木村誠)2,520	第5位	群馬A(剣持京子・佐藤加代子)2,345	第5位	愛知B(則武紀子・大森八重子)2,145
第6位	静岡B(森岩雄・内藤芳弘)2,621	第6位	和歌山A(西田一善・黒田修)2,505	第6位	埼玉A(吉田由美子・西井美由紀)2,344	第6位	神奈川A(三武逸子・宮戸恵子)2,138
* 個人戦 (6G)		* 個人戦 (6G)		* 個人戦 (6G)		* 個人戦 (6G)	
優勝	辻田良二(佐賀)1,424	優勝	浅田俊夫(千葉)1,332	優勝	馬場初美(大分)1,360	優勝	久慈順子(岩手)1,194
準優勝	久保信行(佐賀)1,404	準優勝	有福和義(広島)1,330	準優勝	金子智恵子(新潟)1,264	準優勝	三武逸子(神奈川)1,184
第3位	藤田忠志(滋賀)1,392	第3位	中村謙(三重)1,320	第3位	佐野弘子(京都)1,256	第3位	久保田美津子(静岡)1,173
第4位	松田学(新潟)1,386	第4位	吉永哲哉(東京)1,298	第4位	山中貴美(高知)1,250	第4位	沖崇子(広島)1,170
第5位	小堀康司(京都)1,358	第5位	松原美智雄(群馬)1,294	第5位	林静恵(山口)1,245	第5位	中村邦子(石川)1,164
第6位	緒方正(大分)1,350	第6位	播本雄輔(京都)1,291	第6位	平田智恵子(熊本)1,233	第6位	高本正子(愛知)1,164
* 選手権者決定戦 (15G)		* 選手権者決定戦 (15G)		* 選手権者決定戦 (15G)		* 選手権者決定戦 (15G)	
優勝	藤田忠志(滋賀)3,433	優勝	野口明廣(長崎)3,230	優勝	吉田由美子(埼玉)3,062	優勝	久慈順子(岩手)3,039
準優勝	遠藤邦夫(福島)3,390	準優勝	中村謙(三重)3,222	準優勝	金子智恵子(新潟)3,014	準優勝	大丸谷智子(石川)2,944
第3位	緒方正(大分)3,341	第3位	播本雄輔(京都)3,216	第3位	平田智恵子(熊本)3,005	第3位	唐津美佐子(埼玉)2,914
第4位	東秀雄(石川)3,318	第4位	石島哲也(静岡)3,194	第4位	鈴木英子(福島)2,986	第4位	大橋信子(愛知)2,887
第5位	加地敏浩(兵庫)3,301	第5位	浅田俊夫(千葉)3,190	第5位	辻容子(福井)2,986	第5位	澤田順子(宮城)2,881
第6位	吉本隆夫(熊本)3,292	第6位	岩井親孝(富山)3,190	第6位	佐野弘子(京都)2,954	第6位	中村邦子(石川)2,821
ハイゲーム	松田学(新潟)300	ハイゲーム	松原美智雄(群馬)300	ハイゲーム	吉田由美子(埼玉)268	ハイゲーム	井川静江(北海道)257
ハイシリーズ	辻田良二(佐賀)783	ハイシリーズ	福岡和福(愛知)717	ハイゲーム	山本直美(富山)268	ハイシリーズ	久慈順子(岩手)692
《男子マスターズシニア》(75歳以上)		《女子マスターズシニア》(75歳以上)					
優勝	中塚良三(群馬)*2,646	優勝	小池和美(京都)*2,212	優勝	小池和美(京都)*2,212	優勝	福原秀子(京都)2,077
準優勝	高橋賢二(神奈川)2,489	準優勝	守田順子(愛媛)2,196	準優勝	守田順子(愛媛)2,196	準優勝	上田紀代(京都)2,065
第3位	神谷保広(愛知)2,439	第3位	平仲節子(山口)2,107	第3位	平仲節子(山口)2,107	第3位	板垣愛子(静岡)2,058
ハイゲーム	神谷保広(愛知)268	ハイゲーム	神谷保広(愛知)732	ハイゲーム	中川キミエ(広島)233	ハイシリーズ	小池和美(京都)616



第52回
東日本・西日本
選手権大会

東は北海道
西は和歌山
2冠4冠

52回目の開催を迎えた東日本・西日本選手権大会。今年、7月3日(金)から5日(日)にかけて同時開催されました。

種目とも優勝の快挙となりました。4人チーム戦ではベック優勝も達成。そして女子選手権者決定戦では1・2・3位まで北海道勢が独占しました。松田悠(北海道)は10年ぶりの3度目の選手権者返り咲きを果たし、男子は斎藤祐太(神奈川)が初優勝を遂げました。

西日本選手権は京都・しょうざんボウル(公競No.126・37)で開催。まもなく団体の開催を控える和歌山県勢が男子4人チーム戦と選手権者決定戦の2冠を獲得しました。その選手権者には全日本ナショナルチームの主力で活躍する和田翔吾(和歌山)が、国内の個人タイトルでは意外にも初の優勝となりました。女子の部は3種目とも大接戦。2人チーム戦は学連の岡山商科大学1年生ペアが優勝し、4人チーム戦は全日本選手権総合優勝の福岡が制しました。そして選手権者決定戦では泉宗心音(愛媛)が優勝、並み居る強豪を抑えて15歳にして大会を制しました。



男子マスターズシニア

予選1回戦から650台が飛び出すハイレベルな戦いとなった男子マスターズシニア。まずは森下義雄(大阪)がトップに立ちました。2位につけていた中塚良三(群馬)は2回戦も649をマークして逆転すると、3回戦も659。2位に5マークのリードをつけて迎えた決勝戦でも691と打ち上げた中塚が、大会記録の2646で見事優勝を果たしました。

女子マスターズシニア

1回戦のトップは小林由紀子(岡山)。583の好スタートを切りました。2回戦で大会ハイシリーズの616をマークした小池和美(京都)がトップに立つと、3回戦ではリードを9マークまで広げました。2位につけていた守田順子(愛媛)が決勝で一気に関位に上げましたが、小池は首位の座を守り抜いて優勝を遂げました。

ガイド

全日本シニア選手権大会は50歳以上のボウラーによる一大トーナメント。年代・男女別に6部門が設定され、全14種目が展開されました。昨年の大会から各部門の年齢区分が見直され、以下のとおりに変更されています。

▽男子シニア(50〜64歳)

▽女子シニア(50〜64歳)

▽男子ハイシニア(65〜74歳)

▽女子ハイシニア(65〜74歳)

▽男子マスターズシニア(75歳以上)

▽女子マスターズシニア(75歳以上)

ゲーム、個人戦(6ゲーム)を行い、2種目の個人成績上位者が選手権者決定戦に進出。さらに3ゲームを投球して、合計15ゲームの総得点で選手権者の座を争います。

マスターズシニアは個人戦で、予選は9ゲームを投球、決勝はさらに3ゲームを投球し、合計スコアで優勝を争います。

第52回東日本ボウリング選手権大会
成績表

平成27年7月3日(金)〜5日(日)
北海道・総合レジャーサンコーボウル

2人チーム戦 (2×6 G)									
《男子》					《女子》				
優勝	千葉 A	吉野 浩章	小倉 康輔	2,884	優勝	北海道 A	保木 絵理	松田 悠	*2,746
準優勝	神奈川 E	瀬野 和博	川島 徹	2,789	準優勝	岐阜 A	入江菜々美	竹川ひかる	2,481
第3位	北海道 C	日野 瑛史	寺口 卓	2,765	第3位	東京 A	奥 由佳利	秋山 希望	2,456
第4位	学連 B	川上 諒	黒木 和哉	2,753	第4位	神奈川 A	吉川ちなつ	高橋 美穂	2,418
第5位	愛知 A	高平沙也斗	日比 正裕	2,737	第5位	東京 B	針谷明日香	高田 美樹	2,391
第6位	神奈川 D	斎藤 祐太	川田 光一	2,733	第6位	北海道 E	寺口紀世美	寺口エミ子	2,376
4人チーム戦 (4×6 G)									
《男子》					《女子》				
優勝	北海道 A	松永 歳広	長尾 信昭	5,368	優勝	北海道 A	保木 絵理	松田 悠	4,816
準優勝	愛知 A	高平沙也斗	白井 康介	5,215	準優勝	神奈川 A	清野えみり	福岡祐理恵	4,634
第3位	神奈川 C	伊勢谷広大	竹内 徹郎	5,138	第3位	北海道 C	寺口紀世美	寺口エミ子	4,459
第4位	埼玉 A	幸地 俊輔	木村 安利	5,108	第4位	東京 A	奥 由佳利	秋山 希望	4,458
第5位	神奈川 B	斎藤 祐太	瀬戸 優也	5,090	第5位	北海道 D	針谷明日香	高田 美樹	4,396
第6位	北海道 D	川田 光一	村上 悦男	5,053	第6位	北海道 B	小田美香子	本間夕妃江	4,207
選手権者決定戦 (9 G)									
《男子》					《女子》				
優勝	斎藤 祐太	(神奈川)	2,079		優勝	松田 悠	(北海道)	2,052	
準優勝	川島 徹	(神奈川)	2,074		準優勝	清野 えみり	(北海道)	1,990	
第3位	白井 康介	(愛知)	2,056		第3位	福岡 祐理恵	(北海道)	1,971	
第4位	石井 裕	(学連)	2,054		第4位	太田 千恵	(神奈川)	1,925	
第5位	日比 正裕	(愛知)	2,052		第5位	竹川 ひかる	(岐阜)	1,908	
第6位	瀬野 和博	(神奈川)	2,049		第6位	秋山 希望	(東京)	1,897	
ハイゲーム	川島 徹	(神奈川)	300		ハイゲーム	竹川 ひかる	(岐阜)	278	
ハイゲーム	近藤 雄太	(愛知)	300		ハイゲーム	保木 絵理	(北海道)	714	
ハイゲーム	川上 諒	(学連)	300						
ハイゲーム	田村 浩也	(愛知)	300						
ハイシリーズ	吉野 浩章	(千葉)	833						

第52回西日本ボウリング選手権大会
成績表

平成27年7月3日(金)〜5日(日)
京都・しょうざんボウル

2人チーム戦 (2×6 G)									
《男子》					《女子》				
優勝	奈良 B	堤 祐樹	大久保雄矢	2,743	優勝	学連 A	原田菜津実	石本 美来	2,599
準優勝	学連 A	内藤慎之介	太田 貴久	2,670	準優勝	福岡 B	藤田 亜美	川口 麻衣	2,589
第3位	福岡 A	星野 誠治	中野 勝仁	2,659	第3位	岡山 A	大林 令奈	伊原 絵美	2,528
第4位	広島 A	中塩 貴倫	難波江康雄	2,658	第4位	大阪 A	中野 麻希	山本 梨加	2,475
第5位	福岡 B	渡邊 翔	升水 祐介	2,651	第5位	和歌山 D	伊勢川華愛	山崎 京	2,432
第6位	和歌山 A	和田 翔吾	渡辺 玲史	2,617	第6位	和歌山 B	垣添 巳奈	亀島 愛永	2,418
4人チーム戦 (4×6 G)									
《男子》					《女子》				
優勝	和歌山 C	金谷 佳哉	平野 智基	5,003	優勝	福岡 A	岡本 美月	松田 未佑	4,704
準優勝	広島 A	上村 弥奨	西田 一善	4,951	準優勝	和歌山 A	藤田 亜美	川口 栄紀	4,696
第3位	学連 A	中塩 貴倫	難波江康雄	4,898	第3位	山口 A	垣添 巳奈	川口 栄紀	4,679
第4位	滋賀 A	大崎 智	大岡 明百	4,884	第4位	京都 A	長井香菜子	後田いづみ	4,674
第5位	福岡 A	片山 寛史	井阪 晃生	4,879	第5位	岡山 A	森下 美紀	渡辺 艶子	4,609
第6位	大阪 A	伊吹 太陽	園田多華生	4,854	第6位	長崎 A	鍵野 礼子	山崎 多鶴	4,579
選手権者決定戦 (9 G)									
《男子》					《女子》				
優勝	和田 翔吾	(和歌山)	2,040		優勝	泉 宗心音	(愛媛)	1,946	
準優勝	内藤 慎之介	(学連)	2,019		準優勝	中野 麻希	(大阪)	1,911	
第3位	高橋 晃大	(愛媛)	1,984		第3位	松田 未佑	(福岡)	1,903	
第4位	武本 真明	(大阪)	1,978		第4位	伊原 絵美	(岡山)	1,859	
第5位	難波江 康雄	(広島)	1,956		第5位	石井 美来	(学連)	1,804	
第6位	堤 祐樹	(奈良)	1,933		第6位	小池 沙紀	(長崎)	1,798	
ハイゲーム	奥田 晃二	(京都)	299		ハイゲーム	前土佐 湊	(奈良)	297	
ハイシリーズ	中塩 貴倫	(広島)	754		ハイシリーズ	前土佐 湊	(奈良)	753	

*...大会新記録

TOP BOWLER

vol.98

ボウリングをもっとメジャーに



やまもと・いさお 33歳 (株)アメリカンボウリングサービス所属 アマチュア時代に全日本ナショナルチームの主力として活躍し、2002アジア競技大会(釜山)の5人チーム戦金メダル獲得に貢献。全日本選手権でのマスターズ戦大会記録(2003年、12G3017ピン)は未だ破られていない。2005年のプロ入り後も全日本プロ選手権での3連覇(2006~2008)やジャパンオープン2連覇(2007・2008)といった偉業を達成するトッププロ。

ワールドオープンで準優勝! 好成績の要因はどこに? 「僕的にも久々の世界大会参加ということで、いつも以上に大会への準備や気合がすごく入っていました。短期決戦というフォーマットの戦い方も考えて、色々なことを想定してやっていました。勝ち上がった要因としては、コーチングを付けての試合が僕にとってはとても心強く、コーチングの重要性を感じることが出来ました。この大会を開催していただいたJBCとラウンド

ワン様に本当に感謝を申し上げます。そして決勝では、多くのお客様から声援をおくって頂き、心強かったです。自分も出来る事、全て力を出し切りました。本当にありがとうございました。」

56歳の国と地域から選手が集まった今大会で、印象に残っていることは? 「世界大会ということ、色々なボウラーと交流ができ、ボウリングを通じて新たな友達も多く出来ました。世界のボウラーは、良いパフォーマンスには心から評価をし、失敗したときも心から慰めを言ってくれる、素晴らしい仲間がたくさんいました。ボウリングをスポーツとしてとらえている、まさにスポーツマンシップを僕も学ぶことが出来ました。」かつて日本代表としても活躍された山本プロにとって、オリンピック・パラリンピックはどんな存在ですか? 「自分のやっているスポーツがオリンピックになる事は夢と思っていました。もちろん選手として参加したいと思っていますが、まずは正式種目になる事で、ボウリングがもっとメジャーになってほしい気持ちの方が大きいです。生涯・競技スポーツの両面の良さを持つボウリングが、本当にオリンピック・パラリンピックに入ってほしいです。僕も、もちろん金メダルを目指します。今後もプロ・アマの壁を関係なく、ボウリングを愛好していただけて、オリンピックの正式種目に向けて頑張っていきたいと思います。」

山本 勲さん(JPBA)

羽ヶ崎 & 水谷 3年生がV



【詳細は次号】

第39回 文部科学大臣杯争奪 全日本中学選手権大会

文部科学大臣杯争奪第39回全日本中学選手権大会が7月21日(火)から23日(木)にかけて京都・キョーイチボウル宇治

も充実した副賞とプレゼントの数々。決勝進出の上位16名には褒賞金(育英資金)を贈呈。優勝賞金は30万円です。さらにトップ3の選手には1年間の用品提供や国際大会への出場サポートなどの副賞が贈られます。参加賞や順位賞、抽選賞として記念品やボウリング用品のプレゼントも多数準備しています。またこの大会を機に慈善団体「U22」が結成されました。



た。大会中に実施されるチャリティオークション等のイベントによる収益が全日本視覚障害者ボウリング協会へ、22歳以下の視覚障害者選手育成のために寄付されます。

【大会概要】

▽開催期日 8月21日(金)~23日(日)

▽会場 博多スターレーン(公競No.140-16)

▽出場資格 1993~2002年に生まれた者で、アジアボウリング連盟加盟の各国連盟に所属し推薦された者

(日本はJBC登録会員で各加盟団体より選出された者)

▽競技種目 個人戦(男女混合、ハンディキャップ制)

▽表彰 優勝者16位の選手に褒賞金およびストーム社より副賞を贈呈(優勝賞金30万円、褒賞金はJBC褒賞規程に法り各連盟を通じて選手へ支給)、優勝3位の選手には1年間の用品サポート、海外での大会出場サポートなどの副賞を贈呈



2020

東京オリンピック

追加種目

署名100万筆に到達!

いよいよ最終選考へ

2020東京オリンピックにおける追加種目の候補が6月に8競技まで絞りこまれ、ボウリングもその一つに選ばれています。追加種目入りを目指して実施してきた「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるボウリング競技実施を求める署名」も1,000,523筆に到達しました。

この署名活動には、日本国内で活動するボウリング選手、愛好者や、全国約850のボウリング場より多大のご支援と協力を賜りました。改めて厚く御礼を申し上げます。



提出準備も整いました

この夏、アジアのユースボウラー育成を目的とした新たな大会がスタートします。その名も「U22 1st Fukuoka Summer Cup」です。Sponsored by

U22 Fukuoka Summer Cup

博多にアジアのユース選手が集結

「STORM」ストーム社および(株)ハイ・スポーツ社の全面バックアップで開催、アジアから世界に羽ばたくユースボウラーを擁護します。海外から約100名、日本国内からも約200名がエンタリ。男女混合の個人戦(ハンディキャップ制)で優勝を争います。7月のワールドオープンに優勝した選手は、ドローンを優勝17歳で制したジョーイ・イエオ(シンガポール)や、日本期待の16歳、泉宗心音(全日本ユースナショナルチームメンバー・愛媛)といったトップ選手もこの大会に参戦します。今大会の特徴は何とて

大会・イベント情報

Welcome to the FLEX Generation

KEGEL

50th Anniversary Since 1969

日本総代理店

ファイヤー

- 粘度 45.1cps
- 表面張力 23.8dyn/cm
- 商品コード 94857 156-8135
- 納入単位 1c/s(5 ガロン)

アイス

- 粘度 40.9cps
- 表面張力 23.2dyn/cm
- 商品コード 94856 156-8130
- 納入単位 1c/s(5 ガロン)

全国大会の成績を会場から直接配信!

JBC 携帯版 試合速報サイト



試合速報に大会スケジュール
会場案内など便利な情報が満載
携帯電話、スマートフォン、
パソコンからもアクセス可能です



↑バーコードでかんたんアクセス

アドレスは <http://www.jbc-bowling.or.jp/m/>

公益財団法人 全日本ボウリング協会 www.jbc-bowling.or.jp